

# 2024年1～9月の米国 VC 投資動向

NVCA の Venture Monitor (Q3 2024) に基づき、米国の 2024 年 1～9 月の VC 投資動向を概観する。

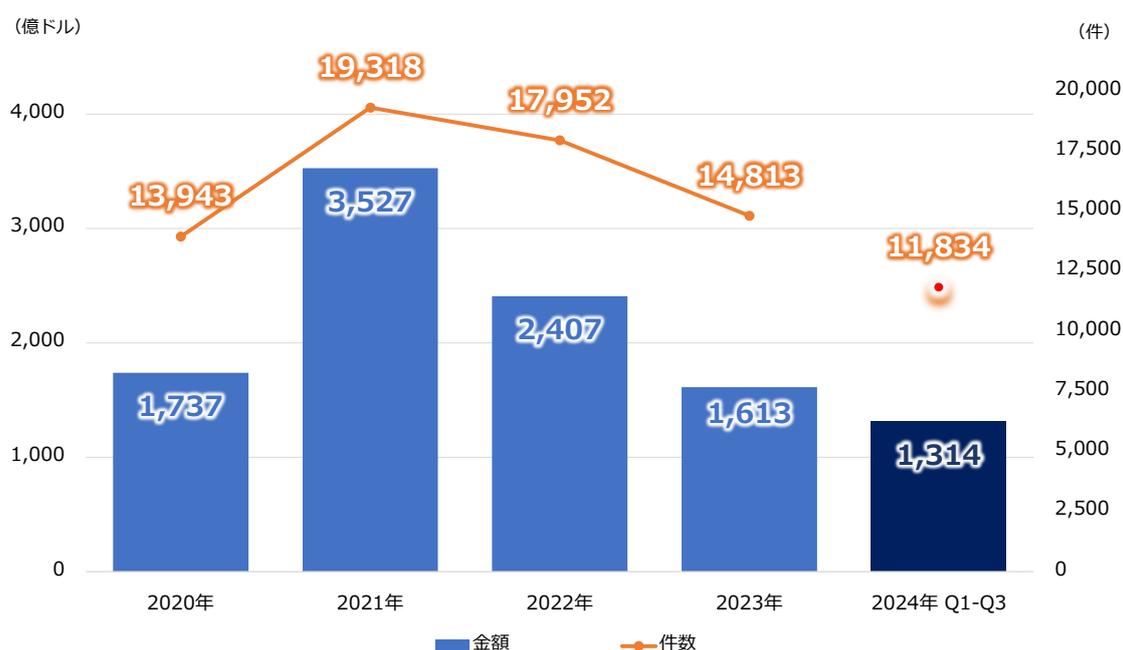
## 1 VC 投資

### (1) 投資金額・投資件数：本格的な回復への道のりは長い

2024 年 1～9 月の米国の VC 投資金額は 1,314 億ドルで前年 2023 年の年間実績(1,613 億ドル) 対比で 81.5%、件数の 11,834 件も前年通年実績 (14,813 件) の 79.9%に達し、いずれもラップの 75%を上回っている。

しかし、これを前々年と対比すると、投資金額は 2022 年の通年実績(2,407 億ドル) 対比 54.6%、件数も前々年実績 (17,952 件) 対比 65.9%にとどまっており、本格的な回復への道のりは長い感がある (図 1)。

図 1 VC 投資の推移 (金額・件数)



(出所：NVCA, Venture Monitor Q3 2024、VEC作成)

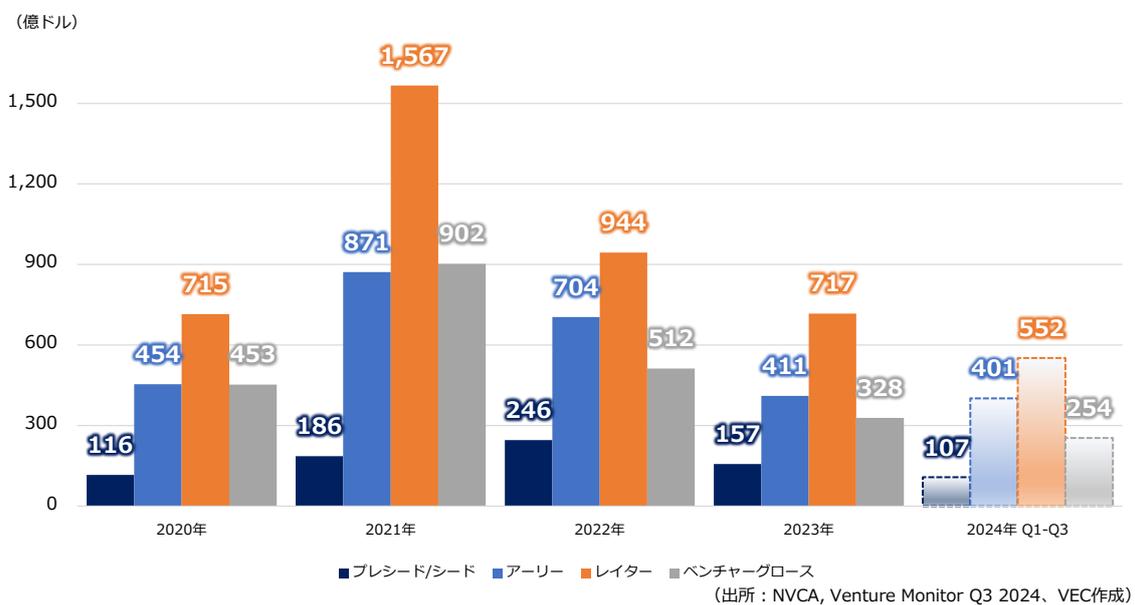
## (2) ステージ別投資 : 「アーリー」が健闘

2024年1~9月の米国 VC 投資金額をステージ別にみると、「アーリー」が401億ドルと、すでに前年実績(411億ドル)の97.6%に達している。

「レイター」の552億ドルは前年実績(717億ドル)比で77.0%、「ベンチャーグロス」の254億ドルは前年実績(328億ドル)比77.4%と、いずれもラップの75%を超えている。

一方、「プレシード/シード」は107億ドルと、前年通年実績(157億ドル)の68.2%にとどまっている(図2)。

図2 ステージ別投資金額の推移

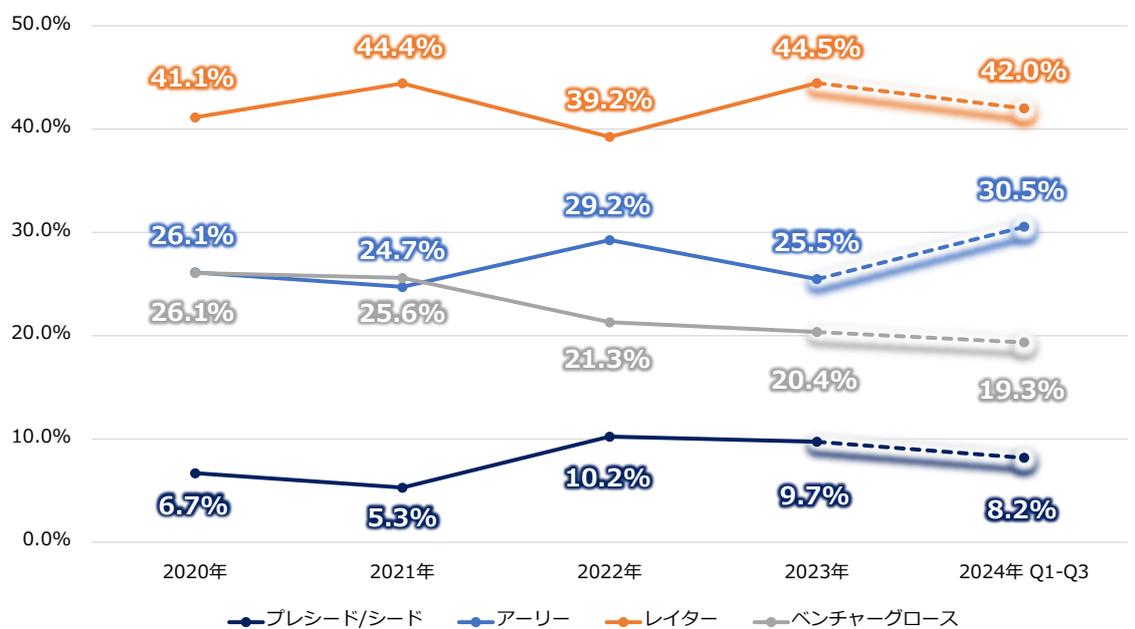


(注) 年度ごとにステージ別投資金額を合計しても、図1の各年の投資金額とは一致しない。

ステージ別投資金額のシェアの推移をみると、2024年1～9月に「アーリー」のみ2023年通年実績の25.5%から30.5%に伸びている反面、他のステージはいずれも前年比でシェアを落としていることがわかる（図3）。

「レイター」と「ベンチャーグロス」の回復の足取りが鈍い要因については、Venture Monitorは、不芳なIPO環境が継続しているなかで、Exitに近づいているベンチャー企業の多くが環境の好転する時機を待って、当面は非公開のままであることを選択しているからだとしている。さらに、米国の未公開企業数に占める「レイター」と「ベンチャーグロス」の企業数の割合が3年前の30.0%から32.4%に増加しているという数字に、こうした「レイター」と「ベンチャーグロス」のIPOへの抑制的な動きが反映されているとしている。

図3 ステージ別投資金額シェアの推移



（出所：NVCA, Venture Monitor Q3 2024、VEC作成）

### (3) 投資家別動向

#### ① 非伝統的投資家 (NTI) : VC 総投資金額とほぼ同じ動き

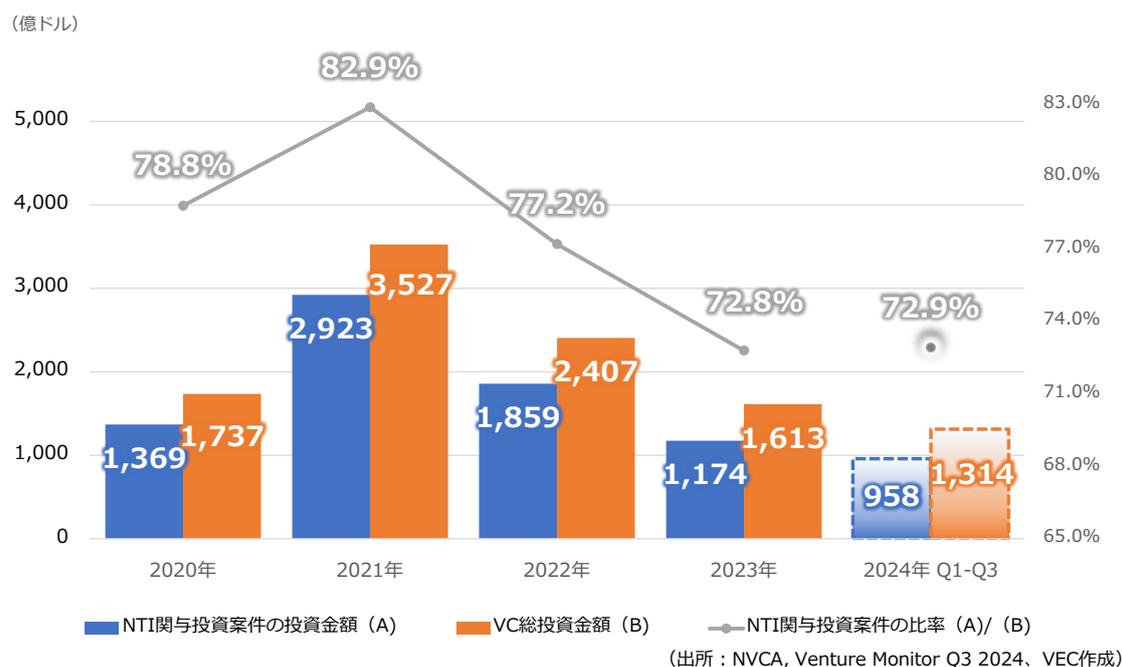
2024年1~9月の非伝統的投資家 (NTI) <sup>(注1)</sup> が関与した案件の投資金額 <sup>(注2)</sup> は958億ドルで、同期間のVC総投資金額1,314億ドルの72.9%を占めている (図4)。

(注1) 非伝統的投資家 (NTI) には、事業法人やCVCの他、PEファンド、パイアウトファンド、グロースファンド、メザニンファンド、ミューチュアルファンド、ヘッジファンド、クロスオーバー投資家などが含まれる

(注2) NTI関与案件の投資金額には、VCなど他の投資家の投資金額も含む

NTI関与案件の2024年1~9月の投資金額 (958億ドル) は、前年2023年通年の投資金額 (1,174億ドル) 対比、81.6%に達しており、これは前記1-(1) で述べたVC総投資金額のラップ (81.5%) と同水準である。

図4 非伝統的投資家 (NTI) の関与投資案件の推移 (金額・比率)



## ② クロスオーバー投資家：2024年1～9月の投資は好調

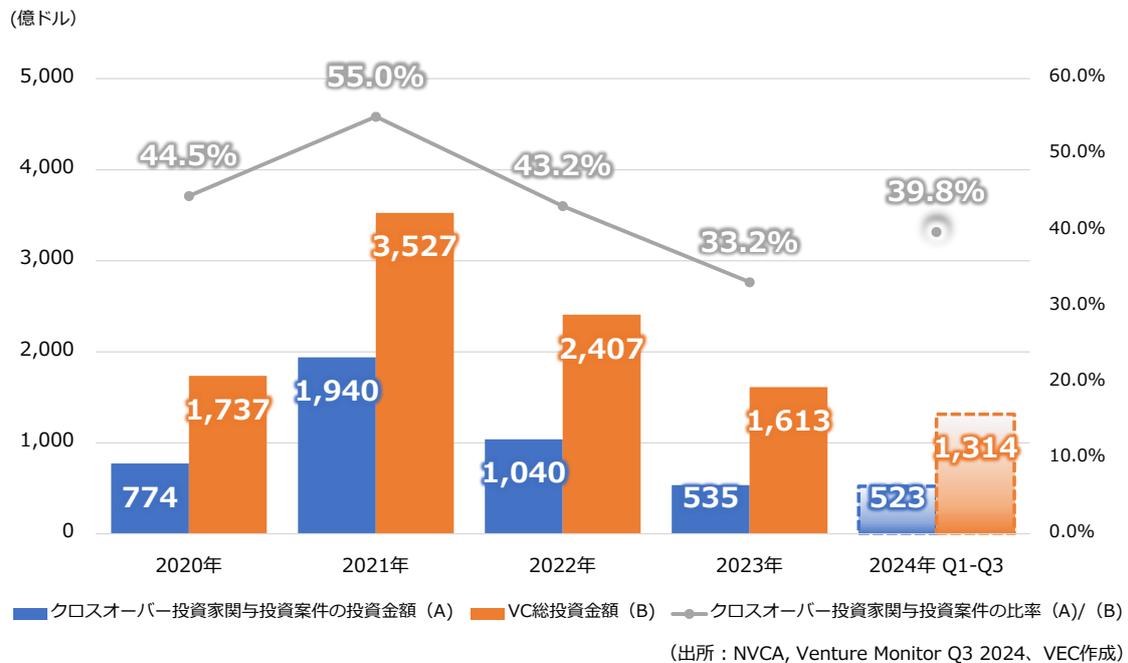
NTIのうち2024年1～9月のクロスオーバー投資家<sup>(注3)</sup>が関与した案件の投資金額<sup>(注4)</sup>は523億ドルで、すでに前年2023年の同投資家が関与した案件の投資金額(535億ドル)の97.8%に達している(図5)。

クロスオーバー投資家関与案件の2024年の通年投資金額は、2021年～2022年の水準には達しないものの、このままのラップが続けば、前年2023年の投資金額比30%増の700億ドル近くに達する勢いである。

(注3) 公開株と非公開株の両方に投資する投資家

(注4) クロスオーバー投資家が関与した案件の投資金額には、VCなど他の投資家の投資金額も含む

図5 クロスオーバー投資家の関与投資案件の推移(金額・比率)



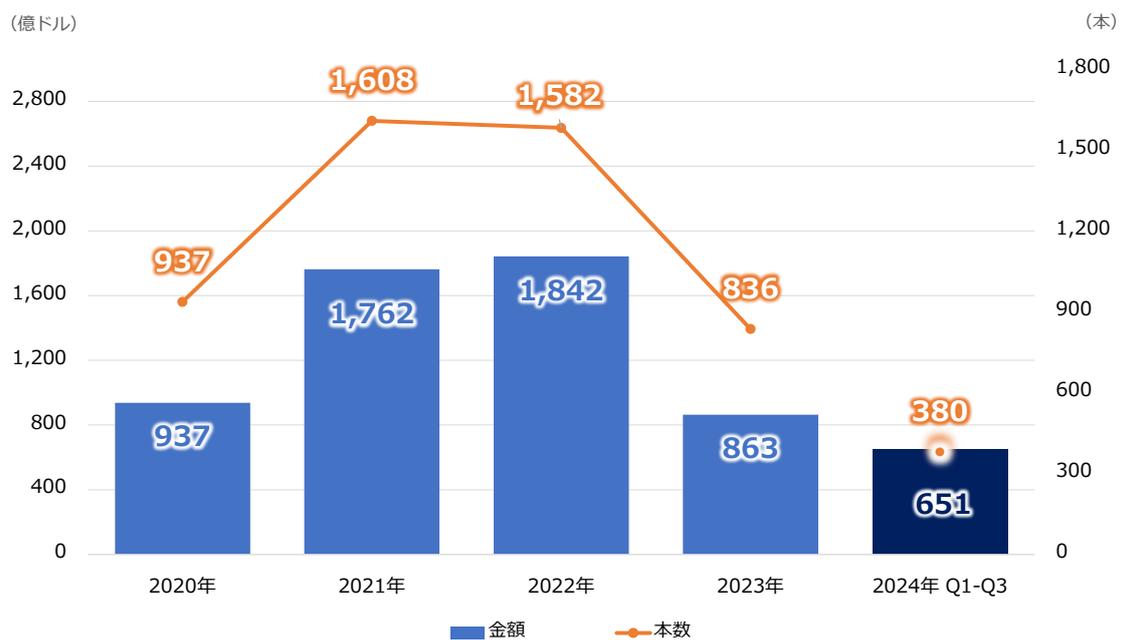
先に述べたようにしばらく非上場の状態を続ける可能性のある「レイター」や「ベンチャーグロース」の企業にとって、今後の成長に必要な資金の調達先として、今後のクロスオーバー投資家の動向がきわめて重要なファクターになるものと、Venture Monitor ではみている。

## 2 VCファンド組成：組成額は2023年に続き低調、件数はさらに減少

2024年1～9月の米国におけるファンド組成の動きは前年同様の低調が続いており、組成額は651億ドルと、2023年の通年組成額863億ドルとの対比で75.4%と、前年ラップ並みの水準にとどまっている。

さらに組成本数は380本と、前年の836本の45.5%にしか達していない(図6)。Venture Monitorは、2024年通年のファンド組成本数は、過去10年間の最低水準に落ち込むものと予測している。

図6 VCファンド組成の推移(金額・本数)

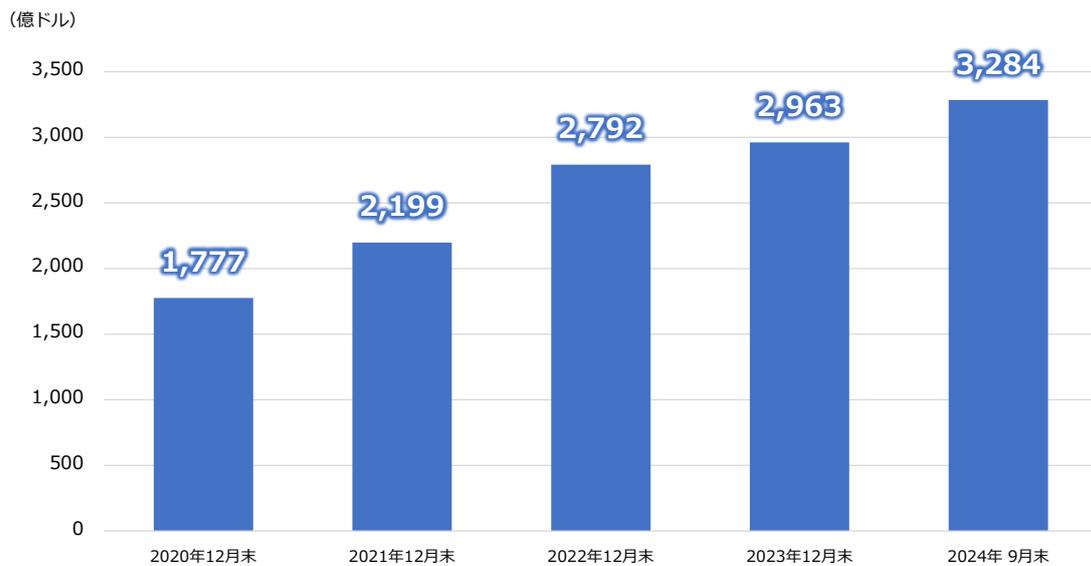


(出所：NVCA, Venture Monitor Q3 2024、VEC作成)

一方、ドライパウダーは相変わらず潤沢で、2024年9月末の累積額は、3,284億ドルと既往ピークの更新が続いている（図7）。

Venture Monitorによれば、ドライパウダーは豊富に存在しているにもかかわらず、一般のVC投資家は軒並み成熟したベンチャー企業への投資を手控えており、その傾向は、特に「レイター」と「ベンチャーグロース」で顕著であるとしている。

図7 ドライパウダーの推移（累積額）



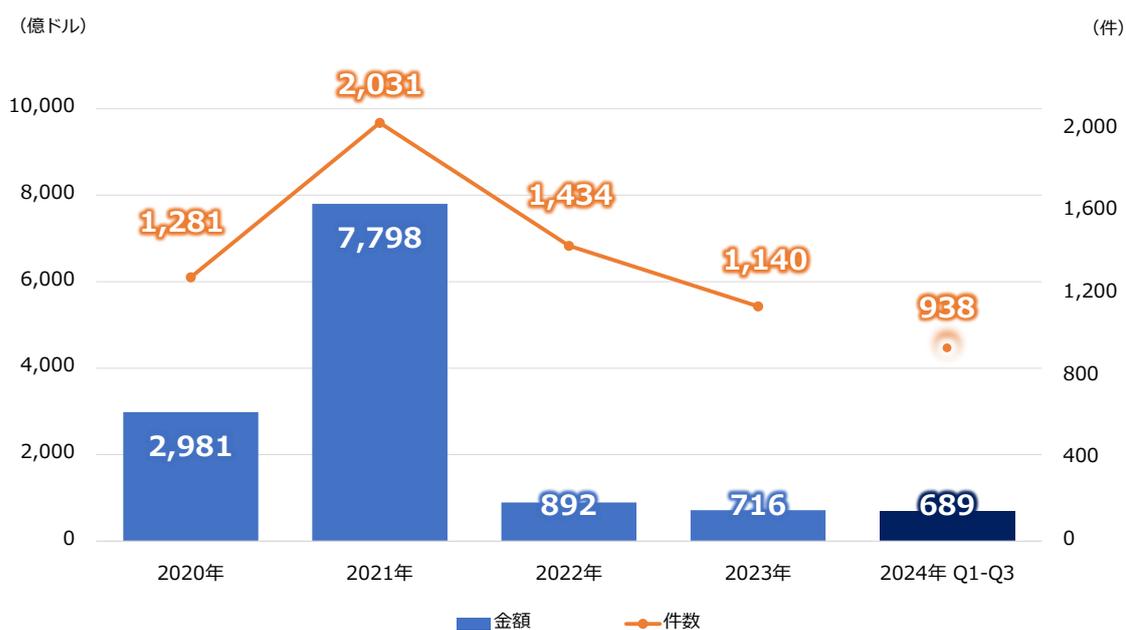
(出所：NVCA, Venture Monitor Q3 2024、VEC作成)

### 3 VC 出資先企業の Exit : 2023 年に引き続き低調

2024 年 1～9 月の VC 出資先企業の Exit 価額は 689 億ドルで、前年の 716 億ドルの 96.2%と、すでにほぼ前年並みの水準に達している。

Exit 件数も 938 件で、前年 2023 年の 1,140 件の 82.3%と、ラップの 75%を上回っている(図 8)。

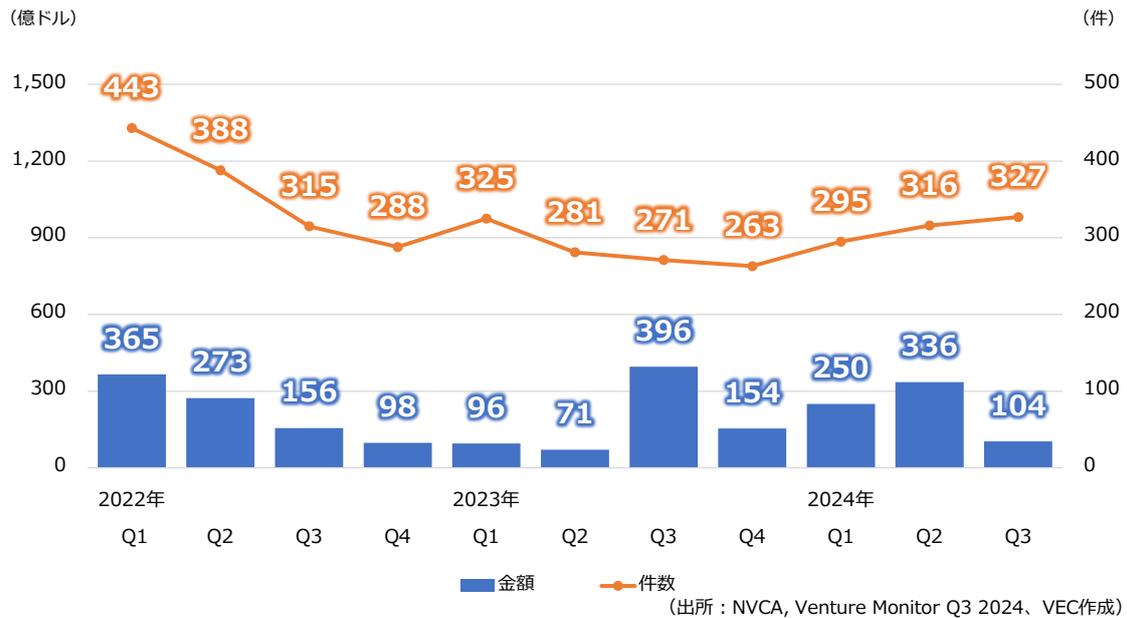
図 8 VC 出資先企業の Exit の推移 (金額・件数)



(出所 : NVCA, Venture Monitor Q3 2024、VEC作成)

しかし、四半期別にみると、2024年Q3（7～9月）のExit価額は104億ドルで、前四半期の336億ドルから大きく減少しており、396億ドルを記録した2023年Q3（7～9月）以降の5四半期間で、四半期ベースでみて最低値となっている。ただし、件数については回復傾向にある（図9）。

図9 VC出資先企業のExit推移（四半期別：金額、件数）



Venture Monitor は、2024年Q3（7～9月）のExit金額が低調であった要因として、大型Exit案件の不足を挙げている。実際に10億ドルを超えるExitは2件（いずれもM&A）のみであった。

以 上